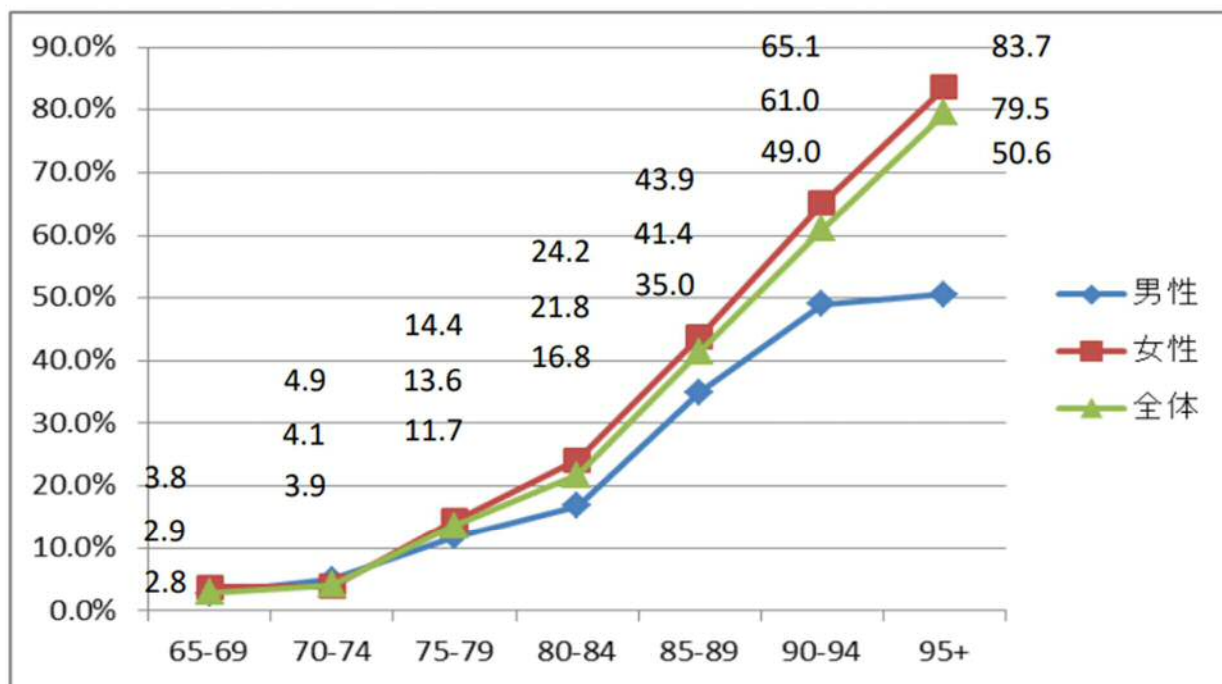


認知症について知っていますか

認知症は「他人事」から「じぶん事」の時代

A

年齢階級別の認知症有病率



厚生労働科学研究費補助金 認知症対策総合研究事業
「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成21~24)
総合研究報告書より、認知症・虐待防止対策推進室にて数字を加筆

研究代表者 朝田隆(筑波大学医学医療系)

首相官邸 ホームページ より

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ninchisho_kaigi/yusikisha_dai2/siryoul.pdf

高齢になるほど、認知症になる方の割合は増える

長生きすることは素晴らしいですが、長生きする程、認知症の有病率は上昇します。人生100年時代になった今、認知症は決して「他人事(ひとごと)」ではありません。一度「じぶん事」として、考えてみませんか。

【芦屋市の「自分でかんたんに出来る認知症の気づきチェックリスト」】

10個の質問に答えるだけで、認知症の可能性をインターネット上でチェックできます！

<https://www.city.ashiya.lg.jp/kaigo/ninchisyou/nintisyoucheck.html>



認知症にやさしいまちを目指して

認知症のことを知っていますか？

認知症は早期発見ができれば、医療や介護の支援を整える事で進行を緩やかにできる可能性があります。

認知症の初期段階(MCI)の場合は、生活機能が回復する場合があります。

早期に発見するためには、家族や周囲の人が「あれ？」と気づく事が大切です。

変化に気がいたら下記の窓口にご相談ください

芦屋市には、認知症相談支援センターが4ヶ所あります。

東山手高齢者生活支援センター 担当地域:朝日ヶ丘・岩園小学校区	電話 0797-32-7552 FAX 0797-22-0339
西山手高齢者生活支援センター 担当地域:山手小学校区	電話 0797-25-7681 FAX 0797-25-7687
精道高齢者生活支援センター 担当地域:精道中学校区	電話 0797-34-6711 FAX 0797-31-0674
潮見高齢者生活支援センター 担当地域:潮見中学校区	電話 0797-34-4165 FAX 0797-31-3714

～「認知症の物忘れ」は「ど忘れ」と何が違うの?～

